

コース No.

4

高度実践型 経営力強化コース

7月開講 6か月（全13日）コース

2025 年

7月14日^①～12月11日^②

- 対象者／経営者、経営幹部、管理者
- 受講料／153,000 円（教材費・税込）
- 定 員／20 名

ケースメソッドで意思決定力を磨き、
飛躍的成長を実現

Concept 研修のねらい

VUCA 時代において、先行きが不透明で将来の予測が困難な中、このような急激な環境変化に迅速に適応し、飛躍的成長に向けて自社ビジネスの変革へ取り組んでいくために、経営の中核を担う人材には、論理的な思考に加え、データに基づいた思考や新事業を産み出す柔軟な発想法、組織一体で実行していく力など、経営課題に対峙する多面的な力の向上がより一層求められます。

本研修では、企業経営の現場で直面する経営課題や意思決定が求められる場面を再現したケース研究を通じて、経営分析手法やフレームワークを活用しながら、複雑に絡み合う要素を紐解く問題解決力と最適な意思決定ができる経営力を身につけます。

コース概要

- 日程 / 全 13 日 (85 時間)
2025 年
7 月 14 日(月)~12 月 11 日(木)
 - 対象者 / 経営者 経営幹部
 - 受講料 / 153,000 円 (教材費・税込)
 - 定員 / 20 名
 - 会場 / 港区虎ノ門会場
【東京都港区虎ノ門 3-5-1
虎ノ門 37 森ビル】
- ※但し、9 月 (9/18(木)~9/19(金)) は別会場
中小企業大学校東京校
【東京都東大和市桜が丘 2-137-5】

Voice of Customer 受講者の声



新井 貴博 氏 ユニーテック株式会社 取締役業務本部 部長

経営を学ぶにあたり、何をどう勉強してよいのか模索している私にとって、高度実践研修は非常に貴重な経験でした。ケースメソッドを通じて実践的な判断力を養うことができ、他の参加者との意見交換を通じて多角的な視点から問題を考える機会を得ました。特に、経営的な視点でのディスカッションは、実際のビジネスに直結する知識を身につけるのに役立ちました。また、研修を通じて参加者同士の絆が深まり、今後も情報交換や相談ができる関係を築けたことは大きな収穫です。短期間で多くの知識とスキルを効率的に学び、自信を持って実務に活かすことができたと感じています。この研修で得た経験と人脈は、今後のビジネスにおいて非常に価値のあるものであり、成長を続けるための重要な基盤となりました。



草場 克之 氏 東洋メンテ工業株式会社 代表取締役

急激な賃金上昇や物価高騰により業態変化が始まり、新しい業務を展開していかないとはいずれ市場の旧体質として取り残される危機感を覚え、中小機構のハンズオン支援を受けたり、コンサルタントに相談したり、どうやって社員と共に会社を変革させていくのかを模索していました。当然自分自身がもっと学ぶ必要もあり、ビジネススクールを受ける気持ちを抱いた折に、それに似た当研修に目が止まりました。他社の様々なケースについて分析や議論をし、非常に多くの学びを得ました。特に大きな気づきは、「情報は、発信する人に新たな情報 (自分が知りたい) を運んでくる」事と、「人手不足での業務拡大にはデジタル化がマスト」という事です。当研修を受けて自分の進むべき方向が明確になり、新たな気持ちで将来のビジョンを塗り替える事ができました。これからも学びの場に身を置き、企業改革への取り組み方を確認しながら、仕事を通して社員が幸せになれる会社になります。



長倉 広弥 氏 エコデザイン株式会社 代表取締役

経営者となり約 10 年経ちますが、特に最近は環境の変化が激しく、ますます先が読みづらい時代になってきたと感じています。そんな中で中小企業大学校から送られてきたパンフレットをたまたま拝見し、これは今の自分に必要な学びなのではないかと考え受講いたしました。本コースでは毎回、様々な経営のケースを与えられ、それを講師や受講者の皆さまとともに読み解いていきます。ケースはどれも実在の企業のもので、とても生々しく経営を疑似体験することができます。事前にケースを読み込んでくるのですが、クラスで議論している中で新しい気付きが生まれてくるので、「人と話すと大事だな」と改めて実感できました。学ぶにつれ、企業の経営に万能の魔法の杖など存在しないということがよく理解できます。実際の経営の場面では、与えられた状況に対して自分で (あるいは仲間たちと) その都度答えを出していくしか無いのです。ただ、経営のセオリーや会計等の知識、過去の事例などを学んでおくことで、判断の精度は上がるのでしょうか。これからも学びを続け、いい会社を作っていきたいと思います。



渡辺 角栄 氏 トーヨーコーケン株式会社 執行役員 生産本部副本部長

前年度に受講した同僚執行役員の勧めがあり、役員 2 年目で本コースに参加させていただきました。機械メーカーで設計一筋の私にとっては、まだまだ経営は雲を掴むような印象でしたので、参加されるみなさんと一緒に最後までやり遂げられるのか大変心配でした。しかしながら、既に代表として活躍される方々も多く、そのリーダーシップや温かいお声掛けのおかげで長丁場の初日から臆せずに臨むことができました。今回は 5 名の先生方からの貴重なお話しと議論の機会をいただきました。先生方の示す論点やお考えは接する度に驚きや合点のいくものばかりで、経営の判断は単に難しいだけでなく、関係者への共感力や、自己の信念をどう伝えるのか、一方では打撃的であることも必要なことを感じました。「自分が汗をかく以上に人は汗をかくてくれない、経営は真剣勝負なんだ」と思いました。ケースメソッドでは仮説検証の大切さを学びました。議論を重ねることで、高い専門性がなくても事象の本質に迫ることができると確信しました。経営判断を迫られる場合、恐らくは経験のない事態ばかりでしょうから、まずは自身が納得できるまで繰り返し考えてみることを心掛けたいと思いました。

Curriculum カリキュラム

本コースではケースメソッドを採用しています。基本的に①ケースガイダンス → ②個人ワーク → ③グループ討議 → ④クラス討議の流れで進めていきます。

コース後半では、具体的なケースを使用したグループ総合演習に取り組みます。総合演習を通して、組織一体で実行する力を身につけます。



① ケースガイダンス

ケースを読み解く上で必要な事前知識の補足を行います。



② 個人ワーク

ケースを個人で熟読して設問に対する自分なりの提案を検討します。



③ グループ討議

個人ワークの検討結果を持ち寄り、グループで討議し、クラス討議に向けて各自の意見を整理します。



④ クラス討議

クラス討議で各自の意見を討議します。討議後に学びのポイントのレクチャーを受け、最後に学びの振り返りをします。

★港区虎ノ門会場：東京都港区虎ノ門 3-5-1 虎ノ門 37 森ビル
中小企業大学校東京校：東京都東大和市桜が丘 2-137-5

1st Term 事業環境／経営基盤の強化／イノベーション 【港区虎ノ門会場】

高度な経営課題への対応が求められる経営陣には、様々な能力が求められます。本研修での到達目標を明らかにした上で、経営者・経営幹部に求められる能力や役割を学びます。また、本研修で採用するケースメソッドの進め方も解説します。

7/14 月	9:15~9:30	・オリエンテーション
	9:30~17:30	・ガイダンス ケースメソッドの進め方 ・事業環境／事業の成功要因
7/15 火	9:40~16:40	・経営基盤の強化／人材マネジメント
7/16 水	9:40~17:40	・イノベーション／新事業への挑戦



2nd Term 事業継承／会計情報の活用

【港区虎ノ門会場】

人口減少社会で事業を存続させるために、経営者には事業継承について予め考えておくことが求められます。ケース研究を通じて、自社の継続的発展に向けた組織改変など次代への円滑な事業継承について考えます。

8/25 月	9:40~16:40	・事業承継
8/26 火	9:40~17:40	・会計情報の活用



3rd Term 新事業展開

【中小企業大学校東京校】

環境変化に対応し新事業展開を検討する必要性が今後ますます高まると考えられます。
新事業展開、ビジネスモデルの構築に際して重要となるフレームワークや発想法、意思決定プロセス、プロジェクトの進め方等について、ケース研究を通じて学びます。

9/18 木	9:40~16:40	● 新事業展開
9/19 金	9:40~16:40	



4th Term 総合演習①

【港区虎ノ門会場】

大きな環境変化に対し、経営者は時として、重要な経営判断を迫られる場面に直面します。ケース研究を通じて、経営判断に必要な意思決定力と、実行段階で必要な課題抽出・解決力を実践的に高めます。

10/15 水	9:40~17:40	● グループ総合演習 1 環境変化と組織のレジリエンス M & A
10/16 木	9:40~17:40	



5th Term 総合演習②

【港区虎ノ門会場】

社会・経済のデジタル化が急速に進展する現在、大きな環境変化に適応するため、業種や規模にかかわらずデジタル・トランスフォーメーション（DX）と呼ばれるイノベーション創出への取り組みが喫緊の課題となっています。こうしたデジタル化のなかでも、デジタル化の基盤となるデータ活用の捉え方と自社での応用方法について、AI（機械学習）を活用する新規事業をいち早く展開できた企業のケースを通して考えます。また、グループ演習を通して、デジタル環境に適応するイノベーション実現の手法について学びます。

11/11 火	9:40~17:40	● グループ総合演習 2 デジタル化とイノベーション（1）
11/12 水	9:40~17:40	



6th Term 総合演習②

【港区虎ノ門会場】

IT 化、DX 化を積極的に推進し、新しい事業を起業したケースの討議と、インターバル期間中にグループで検討したアイデアの共有とフィードバックを通じて、自社の新たな事業創出の可能性について検討を深めます。
また、多くのグループ演習を通じて、チームビルディング力、組織一体で実行する力も培います。

12/10 水	9:40~16:40	● グループ総合演習 2 デジタル化とイノベーション（2）
12/11 木	9:40~16:40	



* 各回のインターバルに、次回のケース教材の読み込みと自身の見解をまとめる課題が出ます。

* 研修の日程は、確定次第当校のホームページでご案内します。また、カリキュラムの内容は都合により変更になる場合があります。

Instructor 講師陣



竹内 伸一 たけうち しんいち 名古屋商科大学大学院 マネジメント研究科 教授

1988年早稲田大学教育学部卒業。マツダ株式会社を経て、2004年慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程修了、修士(経営学)。2011年慶應義塾大学大学院商学研究科博士後期課程単位取得退学、2015年広島大学大学院教育学研究科博士課程後期修了、博士(教育学)。2004年筑波大学大学研究センター客員研究員、2006年慶應義塾大学大学院経営管理研究科特別研究助手、2007年特別研究講師、2011年特任准教授。2016年徳島文理大学人間生活学部教授。2018年4月より現職。



村上 敏也 むらかみ としや 金沢工業大学大学院 イノベーションマネジメント研究科 教授

1997年慶應義塾大学環境情報学部卒業。学生時代より複数の ITベンチャーにて奔走し、技術担当役員などを経て、慶應義塾大学大学院経営管理研究科修了(MBA)、博士(経営学)。東京工科大学・多摩大学・立教大学等での非常勤講師の後、県立広島大学大学院経営管理研究科准教授を経て2018年4月より現職。認定ケースメソッド・インストラクター(慶應ビジネススクール・ケースメソッド授業法研究普及室)。広島県「チームイノベーション道場」教育プログラム開発実証委員。慶應義塾大学ビジネススクール 非常勤講師。



丸尾 聡 まるお あきら 丸尾経営教育研究室 代表

東京藝術大学卒業、東京理科大学大学院修士課程修了。事業理念をデザインする会社を起業後、株式会社日本総合研究所の立上げに参画。顧客と協働して、事業づくりと人づくりを推進する「合併事業設立型経営コンサルティング」モデルを構築。さらに、合併企業を株式上場まで牽引。他方で中山間地域において、異業種交流の成果を事業化。駒澤大学、上智大学大学院などの講師として、学生のアイデアを事業化。現在は、大企業の新規事業人材育成の研修講師として従事。事業構想大学院大学教授 兼 事業構想研究所副所長。慶應義塾大学ビジネススクール講師。



黒岩 健一郎 くろいわ けんいちろう 青山学院大学大学院 国際マネジメント研究科 教授

1990年早稲田大学理工学部建築学科卒業。住友商事株式会社を経て、慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程修了。修士(経営学)。同大学院後期博士課程単位取得退学。博士(経営学)。2003年武蔵大学経済学部専任講師、准教授、教授を経て2014年より現職。専門はマーケティング論。認定ケースメソッド・インストラクター(慶應ビジネススクール・ケースメソッド授業法研究普及室)。主著に「ケースメソッドの教科書 これさえ読めば授業・研修ができる」(2022年、碩学舎)「サービス・マーケティング コンサル会社のプロジェクト・ファイルから学ぶ」(2021年、有斐閣)など。



水野 由香里 みずの ゆかり 立命館大学大学院 経営管理研究科 教授

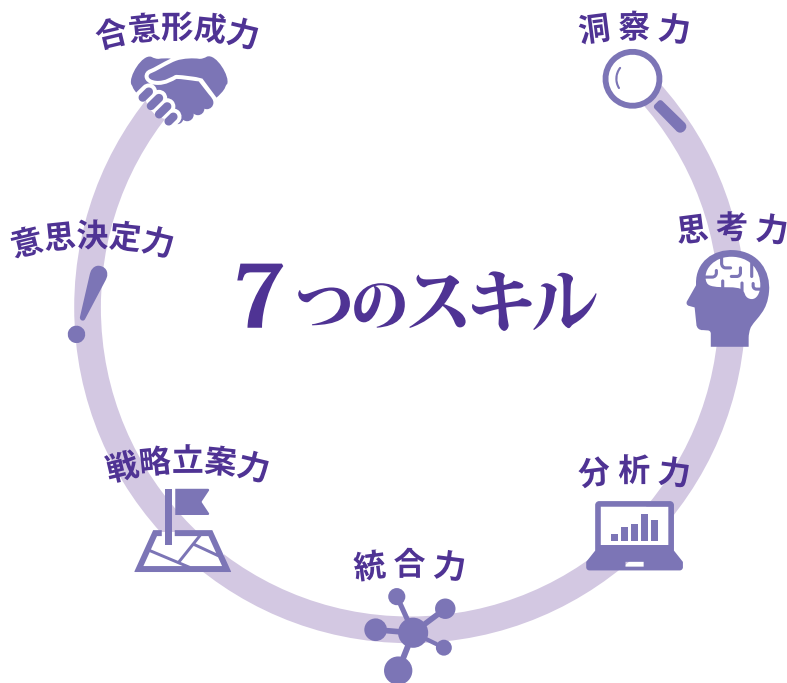
2005年一橋大学大学院商学研究科博士後期課程単位修得退学、2019年東北大学博士(経営学)。2005年中小企業基盤整備機構リサーチャー、2007年西武文理大学専任講師、2013年准教授、2016年国士舘大学准教授、2018年教授、2021年より現職。代表的な著書に、『小規模組織の特性を活かすイノベーションのマネジメント』(碩学舎)、『戦略は「組織の強さ」に従う』(中央経済社)、『レジリエンスと経営戦略』(白桃書房)、『組織盛衰の論理』(千倉書房)、『ケースメソッドの教科書』(共著、碩学舎)がある。中小企業庁 中小 PMIガイドライン策定小委員会検討委員や中小企業政策審議会臨時委員などを歴任。

新改 敬英 しんかい たかひで 熊本学園大学大学院 会計専門職研究科 准教授

1999年3月慶應義塾大学経済学部卒業。国際会計事務所等での監査・M&A担当、民間企業での経営企画マネジャー等を経て、2016年3月慶應義塾大学大学院経営管理研究科修了(MBA)。2019年3月九州大学経済学府経済システム専攻博士後期課程単位取得退学。博士(経済学)。2019年4月熊本学園大学大学院会計専門職研究科講師。2021年4月より現職。研究のかたわら、企業研修等にてミドルマネジメントの育成に従事。米国公認会計士(ワシントン州)。米国公認管理会計士。株式会社ビューティカダンホールディングス(東証スタンダード) 社外取締役。株式会社肥銀キャピタル第2号ベンチャーファンド投資諮問委員。

Feature 研修の特徴

- ◆ 経営の現場を疑似体験するケースメソッドを採用
- ◆ 様々な経営課題を多角的に捉える総合コース
- ◆ 経営者に求められる7つのスキルを習得





申込方法

中小企業者の方であればどなたでも受講できます。
インターネットにてお申し込ください。

※中小企業の定義は HP 等でご確認いただくか、当校までお問合せください。
士業・経営コンサルタント等の方はお断りさせていただく場合がございます。
※応募者多数のためキャンセル待ちとなる場合がございますので、お早めにお申し込みください。
応募状況は、HP でもご確認いただけます。



お申込み・お問い合わせ先

中小企業大学校東京校 企業研修課

〒207-8515 東京都東大和市桜が丘 2-137-5

URL <https://www.smrj.go.jp/institute/tokyo> ※インターネットからお申し込みができます。

TEL 042-565-1207 E-mail to-kenshu@smrj.go.jp



受講決定と受講料の納入

受入決定後、開講日の約 1.5 ヶ月前頃から貴社の連絡担当者様あてに「受講決定通知兼振込依頼書」等を送付いたします。受講料は指定日までにお振り込みください。(恐れ入りますが、振込手数料は貴社でご負担ください)。
※納入後の受講料は、キャンセルされた場合にも一部または全額を申し受けますので予めご了承ください。
※より多くの企業の皆様が受講できるよう、原則として 1 コースあたり 1 社 2 名様までのお申し込みといたします(2 名を超える場合はキャンセル待ち扱いといたします)。

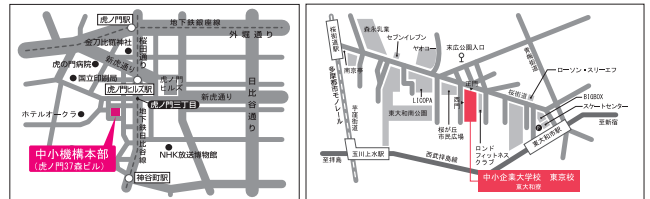


宿泊施設(東大和寮)

寮費: 2,700 円 / 1 泊 (税込) ※寮費は変更になる場合があります。
宿泊施設を併設しております。
また、校内に食堂を併設しています。



港区虎ノ門会場・中小企業大学校東京校 交通アクセス



東京メトロ日比谷線
●虎ノ門ヒルズ駅 A1、A2 出口から徒歩 3 分
●神谷町駅 4b 出口から徒歩 6 分
東京メトロ銀座線
●虎ノ門駅 2 番出口から徒歩 10 分
※口受講生の駐車・駐輪設備がございませんので、受講にあたっては電車・バス等の公共交通機関でお越しください。

JR 山手線 高田馬場駅から / 西武拝島線拝島方面行き 東大和市駅下車 徒歩 10 分
JR 中央線 国分寺駅から / 西武国分寺線小川駅乗り換え、西武拝島線拝島方面行き 東大和市下車 徒歩 10 分
JR 中央線 立川駅から / 多摩都市モノレール 玉川上水駅下車 徒歩 15 分
多摩都市モノレール 桜街道駅下車 徒歩 15 分
※西武線をご利用される場合、拝島線直通の急行または準急のご利用が便利です。
※受講生の駐車・駐輪設備がございません。受講にあたっては電車・バス等の公共交通機関でお越しください。

インターネットによるお申込み方法

1 ホームページにアクセス

受講したい研修が決まったら、中小企業大学校のホームページにアクセス。

【東京校ホームページ】

<https://www.smrj.go.jp/institute/tokyo/index.html>

中小企業大学校 東京校 検索 ※PCでの申込みが便利です。

2 受講申込み

東京校トップページ下部「受講お申込み」をクリックします。



3 Web申込み

「Web 申込み」をクリック。 ※研修詳細ページからも申込みできます。



ご希望の
研修コースを
プルダウンして
お選びください。

以下必要事項を
ご記入ください。



4 確認画面 ▶ 申込み実行

申し込み画面に必要事項を入力後「確認画面へ」をクリックします。



内容が正しければ、「申込み実行」をクリック。



申込完了後東京校から確認メールが送付されます。

※確認メールが届かない場合や確認メールの内容が異なる場合は、
お手数ですが東京校までご連絡ください。

次回からのお申込みが簡単に！

Web企業IDを登録がおすすめ！

Web企業IDを登録することで、次回からの
お申込みがより簡単に！ぜひ、この機会にご登録ください。

登録方法

受講申込みのページ「事務連絡担当者」欄にある「Web企業IDの登録」で「可」を選択してください。



- ・初回お申込み完了後、ご登録のe-mailアドレス宛に「お申込み受付の確認メール」が送信されます。
- ・内容に従い、必ずWeb企業IDのパスワード設定をお願いします。
- ・次回以降は「Web企業IDを登録」欄にIDと設定したパスワードを入力してログインしていただくか、企業情報などが自動で入力されるほか、過去の申込履歴をご覧いただけます。